



2023年1月23日

各位

上場会社名 **清水建設株式会社**
代表者名 取締役社長 井上 和幸
(コード: 1803 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 財務部長 平山 知彦
TEL. 03-3561-1111 (大代表)

サステナビリティボンド（第32回無担保普通社債）発行に関するお知らせ

当社は、社会課題の解決と環境配慮を目的に、本年2月にサステナビリティボンドを発行する予定であり、本日1月23日に、発行に向け社債の訂正発行登録書を関東財務局へ提出いたしましたのでお知らせいたします。

1. 本発行の目的及び背景

当社グループは、「SHIMZ VISION 2030（長期ビジョン）」に掲げる「安全・安心でレジリエントな社会の実現」、「健康・快適に暮らせるインクルーシブな社会の実現」、「地球環境に配慮したサステナブルな社会の実現」に向けて、さまざまな事業活動に取り組んでおります。当社では、この取り組みの一環として、2023年度に東京都江東区潮見において、事業構造、技術、人財のイノベーションを強力に推進することを目的とした「潮見イノベーションセンター（仮称）」の稼働を予定しており、今般、当該プロジェクトの建設資金に活用するため、サステナビリティボンドを発行することとしました。

オープンイノベーションや人財育成の拠点として整備する当該施設群は、情報発信を担う本館、建設ロボットや構造・材料等の生産革新を目指した研究施設、ものづくり体験型の研修施設、歴史資料展示施設、旧渋沢邸で構成されます。旧渋沢邸は、当社の二代目当主である清水喜助が手掛け青森県六戸町に移築されていたものを譲り受け、当敷地内に再移築し、保存するものです。

本サステナビリティボンドの発行及び活用により、幅広いステークホルダーの皆様に対して当社のESG経営に基づく事業姿勢と取り組みをお示するとともに、今後も人々が豊かさや幸福を実感できる、持続可能な未来社会の実現に貢献してまいります。

2. 本発行の概要

発行総額	200億円（予定）
発行年限	5年（予定）
発行時期	本年2月（予定）
資金使途	全額を自社施設である「潮見イノベーションセンター（仮称）」の建設資金のリファイナンスに充当予定
主幹事	野村証券株式会社

当社は、本サステナビリティボンド発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の「ソーシャルボンド原則2021」（SBP2021）、「サステナビリティボンド・ガイドライン2021」、「グリーンボンド原則2021」（GBP2021）、環境省の「グリーンボンドガイドライン2022年版」及び金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン2021年版」に適合する旨のセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）から取得しております。

※R&I セカンドオピニオン：企業等が定めるサステナビリティボンドのフレームワークが、サステナビリティボンド・ガイドライン等に適合していることを評価する、R&Iの意見。

詳細は、R&I ホームページ (<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>)

以上